

波 紋

1992 **2** 第80号

森松恒例書き初め

仕事とプライベートにおいて各自
今年の目標を書きました。
目標に向かって頑張りました。

テニス・ダンス上達

SU-50大作戦・二年度目標達成

平常心 健康

酒税法合格

CADを覚える

ゴルフを覚える

ハワイに行くぞ

新規十件 交通安全

リーダーとしての自覚

大人になる

幸せな家庭

人を動かす

弱い自分に勝つ

新規開拓五軒以上

何ごとにも根気良く

生活維持 安全運転

家族旅行 生活上

家族健康 挑戦

裁断技術の向上

いつでも笑顔で

目指せウーズナム

仕事の充実

字をきれいにする

体を鍛える

整理整頓

新規売上二千万

県外進出 敵在我

日々新にす

結婚 明るく

日進月歩 正確確実

女らしく 健康

大局着眼 一期一会

マックでワープロ

マイツールのマスター

コースト・コーストII

五キロ減量

ヒヤリングマラソン年間1000時間

週一回スポーツジムに通う

コンピュータ入力ミスをしな

踊り開発 協力と発展

一週間に一冊の本を読む

返事を大声で

カードに必ず受注番号を記入

スポーツ週一回以上

種まき元年

英会話二年目

月に本二冊・映画三本

ツーリング一人旅

体力をつける

正夢実現

素直になる

交 差 点

「生涯勉強」



景気が悪くなり、先行き不透明感が世の中全体に浸透してきました。昨年までが良過ぎたかもしれないですが、一年間くらい横ばいの期間があった方が、皆さん冷静に現在を考えると元をじっくり見る時間が必要かもしれません。

モーリンググループもSU-50大作戦二年目に入り、風向きが追い風から向かい風に変ってきた感じがします。波紋一月号に掲載されていたように、混迷の時の方が本当の実力を試せると思います。

今まで努力してきた事が、積み上げてきた事が、どのように評価されるのか、個人的にも、各部門、全社的にも、答えがハッキリ出てくる年になります。二十代、三十代のモーリンマンは、この先、十年、二十年と人生を歩いてゆくその長い将来において、一年ぐらい自分自身を見直す時間は、たいした寄り道でもないと思います。

せっかくの景気減速の時期、しっかりと世の中全体を見て「今、ここ、私」「今、自分は何をなすべきか」を熟慮し、前進しましょう。

「生涯努力、生涯勉強!!」

森 信之

トシ君の一方通行 森松は八百屋だったのか

お客さんのYさんが失礼だけどももしろい事と言った。実名をあげると失礼になるので仮の名を吉本さんとしておこう。吉本さんが何を言ったかという、森松はサファリアパークであると！ 通訳しますと、色々な動物がいておもしろいという意味。成程我々は動物でなく人間であるけれども、色々なタイプの人が集まったの集合体であり、それがおもしろいというのは、結構まとまってやっっているという事か、それとも大変だろうなという両方の意味であろう。そこで同席していたBさんが仮の名を馬場さんにしたところが、馬場さんが野菜に詳しく、野菜の話になった時にひらめいた。そうだ、森松の人間は規格外の野菜であると私は言った。スーパーで売られている、マツスグなキュウリじゃない、形の良いナスビでもない、ひん曲がったキュウリであり、形の不揃いなナスビやトマトである。そして泥のついてる大根である。でもね、通は選びまっせ、ひん曲がったのと、形の不揃いな野菜を、見てくれじゃありません。温室育ちじゃありません。味が違います。泥は洗わにゃあかんですが生でかじっても旨味がある大根です……とまあこんな解釈があつても良かんべえ。さてと近年森松野菜店にも温室野菜が入荷しており、これが仕入れ値が高くって、売値が安いので困っております。

木村 英利

森松クインテッド 少年時代

私は農家に生まれ、農家で育ちました。ようするに放送禁止用語で言えば『百姓』です。もう一人『百姓』がいます。山口部長です。彼は長男ですから私より位が高いです。彼がよく私のことを『百姓』と言います。すると私は『百姓が何を言っとるか。』と返します。この会話は農家出身でしか通じ合えない高度な会話です。前置きはこれぐらいにします。

私の少年時代の農家では子供が手伝うのは、あたりまえでした。私が一番嫌いだったのは、稲刈り、次は真夏の田んぼの草とり。とにかくすべて嫌いでした。どうして俺は百姓の子供なんだろう。』といつも考えました。その中で子供心に思った事は『我慢』それだけでした。ただそれが正しい生き方だとは絶対に思いませんでした。『我慢』というものは日本人の『徳』である、という人がいるが、かかってな事を言うな。』と言いたい。それが私の少年時代です。

わがままを通す事が『信念』と言われ、きれいでございだけとウヤムヤにござまかす事が『やさしさ』であると思われてしまう時代になってしままい、さらに『百姓』は土地があるから、と言われてしまう世の中で、私の少年時代は何だったのだろうと考えてしまいます。しかし、こんな時代になったからこそ最近つくづく思います。『日本人の徳』は『我慢』である。ただし、トイシを我慢する事だけはやめた方がよいです。

牧野 光昌

喜怒哀楽

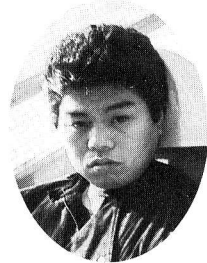
最近、車を運転しているとよく思うことがある。それは、夜間の歩行者が色の暗い衣服を着て歩いていると、運転者から見るとかなり近づいてみないとわからない場合が時々ある。冬なので仕方ないかもしれないが、特に、交通死亡事故が多い老人の人のによく見られる。どうしても老人が着る服は暗い色の服ばかりなので仕方ないのだが、道を歩く時は、何かライトを照らした時に光るものを持っていないかと思う時がよくある。もう一つは交差点での事故も多いのだが、その例として横断歩道を歩いている歩行者が、大型トラック等に巻きこまれて亡くなるケースがよくある。それは運転者の不注意もむろんあるが、それよりも交差点にある横断歩道にも原因がある。今の横断歩道は、交差点と道路とのちようどつなぎめの位置にあるのだが、その位置をもつと道路がわに設けると少しは交通事故も減るような気がする。何せなら乗用車でもそうだが、大型トラックが曲がり切った状態で、車体がまっすぐむいた地点よりも少し先に横断歩道があれば、そこを歩いている歩行者を確実に発見できると思う。となれば交差点での、巻き込み事故も少しは減るのではないかと、自分も車を運転しながら思っている。自分も歩行者・運転者の両方の立場になって交通事故には十分気を付けたいと思う。

鳥羽 幸治

新しい仲間がふえました



福田 工



西垣 浩司

平成4年1月6日入社致しました。

福田工です。昭和41年8月13日生の馬年で、血液O型・出身地―熊本県・「独身」・趣味―釣り・スキー、以上で簡単では有ますが自己紹介を終わります。

森松に入社し早二週間立ち、2台の機械を動かしてデスクマットの加工をしています。

まだまだ仕事面で知らない事、それ以外にも知らない事がいっぱいありますので、早く皆さんの中にとけ込み責任ある仕事ができるように「ガンバリ」たいと思いますので、よろしくお願ひします。

平成4年1月6日入社致しました。

西垣浩司です。昭和37年5月18日生、とら年血液型O型、出身地―愛知県 趣味―ドライブ・スキー以上で簡単ですが自己紹介を終わります。

森松産業に入社して早二週間立ちました。前の会社では、きがむいたとき朝礼があったけど、こちらでは、毎朝、朝礼や訓辞があるので、最初はとまどってしまいました。徐々に慣れるように努力していきたいと思ひます。今は、オートカット、巻き取りを教へてもらひ、まだまだ不安感ばかりあるので、除々に慣れていきたいと思ひます。

まだ、仕事で分らない事ばかりあるので、みなさんに迷惑をかけますが、一生懸命頑張つていきますので、よろしくお願ひします。

暮らしのエッセイ

「ポルトガル」 その1

皆さん、ポルトガル（ヨーロッパの西）と聞いて何を思い出しますか、私はすぐ頭に浮かんだのが「鉄砲」です。歴史では、戦国時代、「種子島」とも呼ばれていました。ヨーロッパの文化に接したのは、1543年にポルトガル人が種子島（鹿児島県）に難船が漂着した時が最初で、イエズス会によるキリスト教の布教は有名ですね。

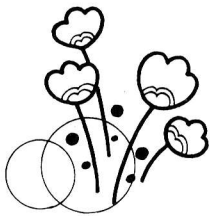
さて、当時日本に入ってきたポルトガル語にはいろいろありますが、現在も残っているものは、やはり物の名称がほとんどですね。それも当時日本にはなかった「物」が多いと言えるでしょう。

コンペイトウ・ボタン・カルタ・シヤボン（石ケン）、テンプラ・ビードロ・チャルメラ・マント・ピロード・ポードといったように、その頃ポルトガル人によって輸入されたものが、そのまま日本に定着して日本語化されていったわけです。

もちろん、なかには伝えられた当時と現在では、異なっているものもあります。たとえばテンプラ。キリスト受難の金曜日には肉を絶つて野菜しか食べないのですが、その日のことをポルトガル語でテンペラスと呼ぶんですね。それがいろいろ変化してテンプラの語源になったといわれています。

高橋 一友

3月号にその2を掲載予定ですお楽しみに！



今月の社内行事

- 2月1日 第一土曜日休み
- 2日 " 中高組組合スキー
- 3日 全国キャラバン出発
- 7日 加藤先生来社
- 8日 第二土曜日休み
- 11日 建国記念の日
- 15日 生産部門休み
販売部門交替休み
- 18日 F・M・S
十八時より
- 22日 生産会議
十七時より 4F
販売部門交替休み
- 25日 経営会議
十六時より
営業会議
十八時半より

1992年カレンダー (4~6月)

販売部門

経理・営業・配送・荷受

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | ④ | | | | | | 1 | ② | | | 1 | 2 | 3 | 4 | ⑤ | ⑥ | | |
| 4 | ⑤ | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | ⑪ | 5 | ③ | ④ | ⑤ | 6 | 7 | 8 | ⑨ | 6 | ⑦ | ⑧ | 9 | 10 | 11 | 12 | ⑬ |
| ⑫ | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | △16 | ⑭ | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | △20 | | | |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | ⑰ | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | △23 | ⑳ | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | △27 | | | |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | ⑳ | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | ㉑ | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | | | | | |
| | | | | | | | ㉒ | 29 | 30 | ㉓ | 29 | 30 | | | | | | | | | | | |

△……交替休日

生産部門

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | ④ | | | | | | 1 | ② | | | 1 | 2 | 3 | 4 | ⑤ | ⑥ | | |
| 4 | ⑤ | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 5 | ③ | ④ | ⑤ | 6 | 7 | 8 | ⑨ | 6 | ⑦ | ⑧ | 9 | 10 | 11 | 12 | ⑬ |
| ⑫ | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | ⑯ | ⑭ | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | ⑳ | | | |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | ⑰ | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | ㉑ | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | | | |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | ㉒ | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | ㉓ | 29 | 30 | | | | | | | | | |

編集後記

今月号の一面にも載せましたが、今年も恒例の書き初めをしました。具体的に書いた方もいるので、目標に向かっての意気込みを感じます。毎年、目標を何にするか考えている時はいろんな事を思い浮かべたりして、やる気十分なのですが、いざ書こうとすると、また悩んだりしてしまう私です。とにかく、今年の私の目標は明るくと女らしくなので、具体的ではありませんが目標に向かって頑張ります。森松マンの皆さん、それぞれの目標に向かって頑張ります。

水野 陽子

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
水野 陽子
平成4年2月1日
第80号